

# 頼れる 歯医者さん

Select  
2013

歯が変わると未来が変わる!  
今すぐ受けたい最新の治療

歯周病・虫歯・口臭  
無痛・審美的治療

歯科治療3つのキーワード

大人の矯正治療  
よくかめるインプラント  
多様化する入れ歯

ほんとにコワイ! 歯と口のトラブルが引き起こす影響

糖尿病・肺疾患・心疾患・肩こり・身体のずれ

安全なインプラント治療を受けるために

東京医科歯科大学大学院 教授(インプラント・口腔再生医学) 春日井 昇平

クローズアップ! 一生付き合える歯科医院



## 座談会

# 良質な歯科医療の提供のため 今、何が求められているのか

深刻な歯科医院の経営問題を抱えながら、良質な歯科医療の永続的な提供のためには何が求められているのか。  
歯科医師たちの自主的な研修会である、日本で一番歯科から日本を元気にする会「N-1会」に集つメンバーに  
「歯科医師の本音」を語っていただいた。

### 歯科医師の社会的役割 行動力をもつてアピール

宇田川 去年の東日本大震災にあつて、被災された方たちの診察とか、遺体の身元確認とか、私たちの会からも参加された先生がいらっしゃいます。しかし振り返ってみると、こうした歯科医師の奮

闇にもかかわらず、果たした役割に比して、社会の認識は歯科医師という職業の見直しにまで至りました。私たちの目標は社員意識が果たして社会的ニーズにマッチしているのか、それとも見直す必要があるのか、これを座



吉田洋一



宇田川宏孝

議会の第1テーマとします。第2テーマはこれまでの治療中心の歯科治療から、予防にシフトするためにはどうしたらいいか、皆さん

の意見を出し合ってください。第3テーマとしてはインプラント治療に伴う事故の報道をどう受け止めらるかです。インプラント治療はそんなに危険なのか。私を含め、

ここにおられる先生方もインプラント治療に携わっておられる方が多数です。報道の方向性の問題もあることは思いますが、まずは謙虚に歯科医師の側で反省すべき点があるとしたら、それは何か、こうしたことをテーマとして座談会を進めていきたいと思います。

吉田（洋） 当院は青森県八戸市

にあります。幸いこの度の震災による被害は免れました。しかし、周りには被災された方、被災した家族や知人を持つ方も多いです。先日、両親を亡くした後輩の歯科医師を訪ねました。仮設診療室をつくつて、そこで診療しているのですが、多少は復興が進んできて

いるよう見えたものの、診療にあたる歯科医師はかなり不足しているようで、歯科医療の需要がかなり多いと聞きました。不自由な生活の中でも、歯のメンテナンスやクリーニングを求める患者さんの声にどう応えていくか、まだ





山本 譲

宮川尚之  
私の地域（岩手県）は仲間4人が医院を流されました。いまは仮設の診療所、または自宅を改造成して診療を開始しています。いわゆる過疎地では歯科医師も医師も不足していますが、これまで以上に積極的に地域の人のニーズに応えられるよう頑張っています。

宮川 歯科医師の社会的役割、責任には、行政の政策への助言とか、やるべきことはたくさんあると思います。毎日の診療に追われていると時間が取れませんが、歯の健康に関する政策の策定や懇談会には、もっと積極的に参加していく

藤本 私の地域（岩手県）は仲間4人が医院を流されました。いまは仮設の診療所、または自宅を改造成して診療を開始しています。いわゆる過疎地では歯科医師も医師も不足していますが、これまで以上に積極的に地域の人のニーズに応えられるよう頑張っています。



山本 譲

去年歯科口腔保険の推進に関する法律ができました。この法律に基づき各地の自治体で条例ができれば、検診が義務化されます。



山田剛久

全国で歯科医師会などが、定期検診の必要性をアピールしていくが、日本全体が健康な国になるといいます。しかし、現在の保険制度

福原 歯科医師、歯科衛生士、という職業が子どもたちのあこがれの職業になる、ということはとても大切なことだと思います。私は医院の取り組みとして、地域のキッズフェスタに積極的に参加して子どもたちに歯医者さん体験をしてもらったり、自分の医院でも夏祭りのようなイベントの中で子どもたちに歯科医院に慣れ親しんでもらったり、職業体験ができるよよな取り組みをしています。歯科自体や予防への関心を高め、受診率の向上につなげることで、QOLの向上を通して社会貢献できるのではないかと考えています。



山田剛久

では診療単価が安すぎるため、夜遅くまで診療しても経営的に苦しむ医院が多い状態です。悪くなつた歯の治療中心では、歯科医師自身が検診を軸とした予防に取り組みません。歯の残存数が多いほど、歯科治療費が抑えられますから、予防の大切さは患者さん本人のみならず、日本の医療費を削減するためにも大事なことです。

**予防への関心は信頼から**

松井 歯科医師自身のイメージを変えていくことが必要ですね。そのためには日々常に患者さんのために何ができるかを考え、勉強



野中幸治

吉田 勤 私は校医として学校で検診を行っています。虫歯の子が少なくなつたといわれていますが、

をして、自分が輝いている姿を患者さんに見てもらう。昔の怖いだけの歯医者さんではなく、お子さんに、将来自分も歯医者になりたいと思つてもらえるような歯医者さんを目指しましょう。



吉田 仁

え、予防のために進んできてくれるようになりました。治療だけではなく、そうした心配りが子どもを含めた患者さんに、歯を大事にしようと気持ちになつてもらうためには必要なんですね。



吉田美沙子



黒川 浩司

## 治療後が次へのスタート 医科・歯科の連携が必要

宇田川 以前はよく「悪くなつたらまた来てね」という言い方をしていました。しかしこれまで悪くなることを前提にしていました。私たちの仕事は悪くならないようになります。でも歯科衛生士が活躍するために歯科医師自身がその必要性を認識し、予防の意識を高めてもらう必要があります。どうも歯科医師の中には、こうした意識が希薄な人もいるようです。

**武知** 高齢者や有病者など、いろいろな薬を服用している患者さんはならないと思います。医科・薬局と連携して、そうした患者さんの生活全般を見ていくようなことを試みています。地域の人、とくに弱い立場の人、あの歯科医院がないと困るといわれるような歯科医院でありたいですね。

荻原 超高齢社会が進む中で、死因として肺炎が3位にランクされました。しかし介護現場では、ケアマネージャーがまだ口腔ケアの大切さをあまり認識していません。認職性肺炎を減らすためにも介護現場や、ケアマネージャーに口腔ケアの大切さをもつと感覚発生することが必要です。

**浜崎** 月に2回老人ホームを回って、寝たきりの老人や痴ほう症の方の治療にあたつてましたが、口腔ケアがほとんどされていない。少しでも早く予防に关心を持つてもらい、より良い老後が過ぐせるよう啓蒙していくことが歯科医師の使命だと思います。

実際は虫歯になりかつている子どもが結構います。虫歯予防のためには、やはり医院の中だけでは効果が限られているので、講演などを通じ、子ども本人だけでなく、積極的に学校の教職員や父母に働きかけています。実際学校の先生の歯がきれいになると、そのクラスの子どもの歯もきれいになっていきます。

佐々木 私のところでは、予防や治療後のメンテナンスに関心を持つてもらうために、スタッフと患者さんが話す時間をなるべく多くともよろしくしています。子どもにもスタッフの名前を憶えてもら



佐々木 仁

櫻澤 予防に関心を持つている患者を分析すると、歯科医師や歯科衛生士を信頼していることがわかれます。だから信頼関係がないと、予防の大切さを訴えても効果がない。スタッフを含めて歯科医院そ

富川 歯周病や虫歯は生活習慣病の要素が大きいです。こうした慢性疾患に対しては、歯科医師が生活相談とか、習慣の見直しを助言



武知幸久



荻原尚樹

するのもいいのではないか。しかし、学生に対する態度も予防を中心とした歯科医師の未来の話をしています。先ほどの薄利多売の話ではありませんが、学生のところから歯科医師になることに夢を持つてもらうためにも、歯科医師の社会的役割と使命をしっかりと自覚してもらいたいことが大事です。

**倫理観を持たない治療は金儲けに堕してしまいます**

宇田川 収入に結び付くということで、インプラント治療を手掛けた歯科医院があるようです。本来歯科医師にとってインプラントの埋入は、咬合を回復するための一つの手段です。ところがインプラントを入れることが目的になると、それを入れた段階で治療が終わりとなってしまう。これでは、問題が起つてしまふのも当たり

浜崎 インプラントは別の医院で入れてもらったので、メンテナンスだけやつてほしいという患者が来ましたが、そこは人されるだけ、メンテナンスはやらないといいます。おそらく安さだけやつてほしいという患者が来ただとあります。そこは人されるだけ、メンテナンスはやら

ないといいます。おぞらく安さだけを売りにした歯科医院だと思いまが、目的と手段を完全にはき違えている例だと思います。儲けるためのインプラントです。

荻原 本当に眞面目にインプラント治療をおこなっている歯科医師は、それこそ海外にも研修に出かけ、勉強の量が全く違います。いろいろな報道がありますが、患者さんと信頼関係があれば、インプラントは怖いからやめようという話は出でていません。この信頼関係

宇田川 やはり立ち返るとしたらわれわれが歯科医師になった理由ですかね。みんな初めは何とかして人助けたいと思うところから始まっていると思います。しかし経験などがあり、いつの間にか目標と目的が入れ替わってしまう。

松井 私は患者さんを診るととき、この患者さんが自分の母親、兄弟、恋人だったらと思いながら治療にあたります。インプラントを入れ

するのもいいのではないか。しかし、学生に対する態度も予防を中心とした歯科医師の未来の話をしています。先ほどの薄利多売の話ではありませんが、学生のところから歯科医師になることに夢を持つてもらうためにも、歯科医師の社会的役割と使命をしっかりと自覚してもらいたいことが大事です。

**倫理観を持たない治療は金儲けに堕してしまいます**

藤本 大学で臨床研究指導医をしておりますが、学生に対しても予防を中心とした歯科医師の未来の話をしています。先ほどの薄利多売の話ではありませんが、学生のところから歯科医師になることに夢を持つてもらうためにも、歯科医師の社会的役割と使命をしっかりと自覚してもらいたいことが大事です。

部だと思いますが、こうした現状を踏まえて意見をどうぞ。

前です。歯科医師全体のほんの一端だと思いますが、こうした現状を踏まえて意見をどうぞ。

**権藤 歯科医師免許があれば、インプラントを手掛けることは可能ですが、可能だということとやれることは違います。私は若い歯科医師に対しては治療のベ**

**スとなる基礎がしっかりとできるようになつてから始めるよう助言したい。これは歯科医師としての倫理観の問題だと思います。**



浜崎和樹



松井利賀

るのも、残りの歯を守るために、仮にインプラントを入れたら、メンテナンスの問題も含め、一生のお付き合いになることを理解してもらつてから入れています。

**宇田川 インプラントは総合的な治療ですから、咬合、歯周病の予防ができないければインプラントは扱えないし、本来扱ってはいけない。だからかなり研鑽しないと本当にいい治療はできません。**

